

来聴歓迎！！

加藤・山崎記念基金 特別講演会

アルツハイマー病治療薬 ～アリセプトから学ぶ創薬と創造～

杉本八郎氏

京都大学大学院 薬学研究科 教授

日時:2011年12月12日(月)10時45分～12時15分

場所:京田辺キャンパス 夢告館102教室

講演内容

高齢化社会の大きな問題の一つに認知症があります。その中で人格が崩壊していくアルツハイマー病は老老介護とも言われる現代社会の課題です。新規化学構造では世界で初めてのアルツハイマー病治療薬ドネペジル塩酸塩(商品名アリセプト)はコリン仮説に基づいて開発した薬です。患者さんの脳内の記憶と関係した神経伝達物質であるアセチルコリンを増やすことによって効果を示すのが作用機序です。この開発物語から創薬と創造についてお話いたします。



加藤・山崎記念基金

加藤与五郎博士の主張される「学問の新しい流れを創る研究、新しい工業を創成する独創的な研究」を実践できる若い研究者を育成するために、山崎舜平氏の尽力により設けられた基金。



主催：同志社大学理工学研究所 加藤・山崎記念基金運営委員会

共催：同志社大学理工学部, 生命医科学部, リエゾンオフィス

問い合わせ先：同志社大学理工学研究所事務室 (TEL:0774-65-6220)